

第22回琉球大学医学部医学科同窓会通常総会のお知らせ

琉球大学医学部医学科同窓会会長 蔵 下 要（3期生）



若夏のころ、同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて昨年の同窓会総会からこの1年間で我々同窓生にとって大変喜ばしい出来事がいくつもありました。まず、第5期生の垣花学氏が5月1日付けで琉球大学医学部麻酔科学講座の教授に就任されました。これは同窓生として初めて母校医学科の教授の誕生であり、琉球大学医学部学科同窓会設立以来の念願が達成されたものとして、同窓生一同で喜びを分かち合いたいと思います。また、4月1日には沖縄県の医療行政の重要ポストである沖縄県保健医療部保健衛生統括監に第4期生の国吉秀樹氏が就任されました。これも大変な快挙であり心から喜ぶと思います。本同窓会の目的は規約の中で「会員相互の連携をはかり、親睦につとめ、母校の発展に寄与する」と記されています。本医学科はこれまで昭和62年卒業の第1期生から今年3月卒業の28期生まで2700名余りの卒業生を送り出し、また同窓会は平成5年の設立から21年を数えます。今回、母校医学科の中でも、また沖縄県の医療行政の中でも同窓生が責任ある立場に就任されたことで、ここにきてようやく同窓会の大きな目的の一つである、「母校の発展に寄与する」ための本格的な足がかりができてきたのではないかと感慨深いものがあります。

更には、3月の第108回医師国家試験の合格発表において、琉球大学は合格率93.3%で全国80校中30位と、ここ十数年続いていた下位低迷期から抜け出し、大きく飛躍する結果となりました。これは教育企画室を中心として医学部が取り組んできた多大なるご努力の成果であることは言うまでもありませんが、ここ数年で同窓会が国試対策として医学部と協力して行ってきたいくつもの取り組みが功を奏してきたのではないかと嬉しく感じる次第です。これで気を抜くことなく、今後とも同窓会としての国試対策への取り組みは継続していきたいと思います。

5月末には、琉球大学医学部および附属病院の西普天間地区への移転計画が発表されました。沖縄県が同地区に進める国際医療拠点計画の中心に琉球大学医学部・附属病院を据えるというものです。将来の琉球大学医学部の大きな発展を考える上で、大変歓迎すべきお話であると理解しています。国、沖縄県、市町村、大学、医師会に加えて、琉大医学科同窓会が一丸となって実現に向けた取り組みが必要になると思われます。また、新築移転される新しい琉大医学部において、多くの同窓生が母校の教授としてご活躍されることを願い、同窓生の皆様に益々の奮起を期待する次第であります。

このように嬉しい話題の多い中、今年も別記の日程で同窓会総会・講演会・懇親会を開催いたします。7月の海の日連休、日曜日に総会を開催する日程もだいぶ定着してまいりました。総会後の講演会は今年は2部構成で行います。第1部は毎年の定例となりました卒後20年目の同窓生の企画による講演会で、今年は第8期生の金城さくら氏がアメリカより駆け付けていただき、「アメリカにおける臨床医学」という演題でご講演をされます。第2部では教授就任記念講演会として今回、麻酔科学講座教授に就任された垣花学氏に特別講演をお願いしております。これまでの研究やこれからの展望など、実りあるお話が拝聴できるものと期待しております。講演会後の懇親会は、今年は例年にない様な、祝賀ムードの中で執り行われることと思います。同期や先輩、後輩達との旧交を温めるとともに、垣花氏に直接、お祝いと激励の言葉をかけていただけると幸いです。また懇親会終了後には、こちらも恒例となりました、卒後20周年（8期生）と10周年（18期生）の同期会も予定されております。たくさんの笑顔にお会いできる様、多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

新体制でスタートをきった同窓会執行部が2年目を迎えます。この1年、支えてくださった方々に感謝を申し上げるとともに、今後とも同窓生の皆様の温かいご支持、ご支援を賜ります様、どうぞよろしくお願い申し上げます。